

第2期ビジョン [現行] の概要

ビジョンの位置付け

「21世紀兵庫長期ビジョン」の趣旨や方向性を踏まえ、本県の芸術文化振興のための取組の展開方向を示す指針

計画期間

2015年～2020年（H27～R2）頃の概ね6年間

基本目標 **芸術文化立県ひょうご**
～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域を元気にする社会の実現～

基本方向

- 1 芸術文化を創造・発信する
- 2 芸術文化の“場”を育て拡げる
- 3 文化力を高め、地域づくりに活かす
- 4 みんなで支え、総合的に取り組む

重点取組項目、成果指標による効果測定を新たに導入し、実効性を確保。

重点取組項目

- 1 県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実
- 2 「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展
- 3 兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信
- 4 芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進

成果指標

- ※「兵庫のゆたかさ指標」より
- ①住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合
H26：40.7% → R2目標：50%
 - ②住んでいる市・町で、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合
H26：49.3% → R2目標：60%

第2期ビジョン策定以降（H27～）の主な動き

本県の芸術文化施策の進展(主なもの)

- (1) 拠点施設の大規模改修工事等
 - H27～28 王子分館耐震補強・大規模改修
 - H28 芸術文化センター大規模改修
 - R1～2 ピッコロシアター大規模改修
 - R2 県立美術館西宮分館開館
 - R3 芸術文化観光専門職大学開学

(2) 新たな事業展開

- ① 県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実
 - ・ 芸術家育成プロジェクトシリーズの開催(R1～)
 - ・ 小学校・特別支援学校を対象にしたPAC小規模アトリー事業の実施(H29～)
 - ・ 障害者芸術応援プロジェクト(R2～)
- ② 「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展
 - ・ 子ども伝統文化わくわく体験教室(H27～)
 - ・ 県民局版地域リーディングプロジェクト(R2～)
- ③ 兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信
 - ・ ひょうごの文化発信リーディング事業(R1～)
- ④ 芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進
 - ・ 市町ホール活用支援事業(R2～)

国の芸術文化施策の動向

H29.6 文化芸術基本法の制定(改正)
H30.3 文化芸術推進基本計画(第1期)
「文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる」

〔文化芸術の多様な価値、すなわち文化芸術の本質的価値及び社会的・経済的価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用・好循環させ、文化芸術立国を実現する。〕

H30.6 障害者文化芸術活動推進法の制定
H31.3 障害者文化芸術活動推進基本計画

〔障害者による文化芸術活動の推進は、物理的・心理的障壁を取り除き、多様な選択肢を持ち得る社会を構築するためのものであり、新しい価値の提案とともに、共生社会の実現に寄与する。〕

H30.6 文化財保護法等の改正

〔文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりでその継承に取組んでいくため、文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力を強化する。〕

R2.5 文化観光推進法の制定

〔文化の振興を観光の振興と地域の活性化につなげ、その経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出する。〕

新型コロナウイルス感染症への対応

芸術文化活動への影響と県が講じた対策

- (1) 芸術文化活動への影響
 - ① 発表機会やお稽古・レッスン等の減少・喪失
 - ② 公演や展覧会の休止・中止・延期
 - ③ 再開に向けた感染症防止対策

(2) 県が講じた主な対策

- ① 各種動画配信事業の実施
- ② 新進アーティスト等発表の場の提供
- ③ 感染症対策費用の支援事業
- ④ 県立施設における会場キャンセル料の免除
- ⑤ 公演再開に向けた支援
- ⑥ 各芸術文化施設の取組

第3期ビジョン [次期] の骨子【案】

改定の基本的な考え方

- 「基本目標」及び「基本方向の4項目」を第3期ビジョンにおいても引き続き維持。
- 第2期ビジョン策定以降の諸情勢の変化への対応、国の施策の動向との整合性の確保、第2期ビジョンの成果の各観点から踏まえ、具体的な展開方向及び主な取組等について改定。

計画期間

2021年（R3）～
2025年（R7）の
5か年とする。

成果指標

- 第2期ビジョンの指標を継続。
- ①住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合
R2：37.1% → R7目標：50%
 - ②住んでいる市・町で、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合
R2：55.0% → R7目標：65%

基本方向	展開方向	主な取組
1 芸術文化を創造・発信する	(1) 芸術文化を担い、育て、つなげる人材を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ◆若手芸術家の発掘・育成 重点1 ◆芸術文化活動を支えるプロフェッショナルの確保・育成 重点1 ◆文化ボランティアの育成・活用 重点1
	(2) 芸術文化の拠点機能を高める	<ul style="list-style-type: none"> ◆県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進 ◆芸術文化施設の活用、適切な維持・保全 ◆新たな芸術文化拠点整備における地域との連携
	(3) 芸術文化の発信力を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ◆ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等 重点1 ◆芸術文化の活動・鑑賞機会等に関する地域偏在の解消 重点1 ◆コロナ禍から生まれた新たな創造・発信手法の展開 重点1
2 芸術文化の“場”を育て拡げる	(1) 地域で多様な“場”を育て拡げる	<ul style="list-style-type: none"> ◆芸術家等が地域へ出向くアトリー活動の推進 重点2 ◆様々な場所の芸術文化発表の舞台としての活用 ◆交流の機会の創出と充実
	(2) 芸術文化による社会包摂の実現	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者・障害者の芸術文化活動への支援 重点2 ◆すべての人があらゆる地域で芸術文化を享受できる環境づくり 重点2
	(3) 青少年が本物の芸術文化に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ◆青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実 重点1 重点2 ◆学校教育との連携の推進 重点1 重点2 ◆文化の担い手の発掘・育成に向けた青少年への魅力発信 重点1 重点2
3 文化力を高め、地域づくりに活かす	(1) 地域の芸術文化の掘り起こしと文化力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財・産業遺産等地域資源の保存と活用 重点3 ◆地域内部への芸術文化資源のPR 重点3 ◆地域（シビック）プライドの育成 重点3
	(2) 地域資源を活用した地域の元気づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域遺産等を活用したまちづくりの推進 重点3 ◆地域資源の観光への活用による地域振興
4 みんなで支え、総合的に取り組む	(1) 県民自らが芸術文化を支え育てる	<ul style="list-style-type: none"> ◆芸術家を支え育てる目を持つ観客の育成 重点1 ◆県民等の参画と協働の促進 ◆ふるさと寄附、クラウドファンディング等の促進
	(2) 県民、団体、企業、行政等の各主体の連携体制を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ◆相互連携を支えるプラットフォームの整備 重点4 ◆芸術文化振興のための財源の確保 ◆国や市町、関係団体との連携体制の確立 重点4

重点取組項目

- 1 芸術文化の創造・発展に向けた人材育成と新たな技術の活用
 - ①人材育成の推進、②県内外・国内外への更なる発信力の強化、③芸術文化にふれる機会の地域偏在の解消、④オンライン鑑賞や芸術文化拠点の安全確保など『ポストコロナ社会』への対応
- 2 県民誰もが身近に芸術文化に親しめる多様な環境の充実
 - ①すべての人が芸術文化に親しみ、発信できる共生社会に向けた社会包摂の実現、②様々な世代間で芸術文化をともに楽しめる交流の推進
- 3 芸術文化資源を通じた地域の活性化
 - ①地域活性化に向け文化資源や芸術文化のまちづくり・産業づくりへの活用、②地域の優れた芸術文化遺産の発掘・発信による地域意識（シビックプライド）の育成
- 4 芸術文化を支えるプラットフォームの整備
 - ①県・市町、芸術文化団体、文化施設、民間等が連携して取り組む体制の整備